

ファクト シート

NetApp Keystone

思いどおりにデータを管理

NetApp Keystone[®]は、他に類を見ない、ネットアップ独自のストレージ サービス（STaaS）です。オンプレミスとクラウドをまたいで、シンプルなハイブリッド クラウド環境を最短コースで実現します。

Keystoneポートフォリオは、ハイブリッド クラウド環境に最適化された従量課金制のSTaaSプランです。即応性と運用の柔軟性に優れ、財務面のリスクを軽減できるため、初期の設備投資を抑えつつ、ビジネス目標の達成をスピードアップできます。

財務上と運用上のメリットが得られる 柔軟な消費モデル

Gartnerの予測によると、オンプレミスで運用されているITストレージの管理コストとサポートコストのうち、2025年には40%以上がマネージドSTaaSに置き換わる見込みです。言い換えれば、ストレージ予算を柔軟な消費モデルに移行することがいかに重要であるか、多くの企業が気づくということです。

その理由は、従量課金制モデルでは使用量とコストが連動しており、予算の見通しが立てやすいことにあるでしょう。また、本質的に柔軟性と拡張性に優れ、余分な購入とオーバープロビジョニングを回避しやすいのも一因です。

2025年には、
**企業のエンタープライズクラス
ストレージは、容量の
70%以上が消費モデルの
サービスプランで運用されるように
なるでしょう**
(2021年時点では40%未満)。

出典：Gartnerレポート、『Enterprise Storage as a Service Is Transforming IT Operating Models』、Jeff Vogel、Robert Preston（2021年3月2日）

Keystoneは従量課金制のストレージ サービス（STaaS）プランで、初期投資型の設備の購入（CAPEXモデル）やリースよりも、消費型の運用コスト（OPEX）モデルを好まれるお客様に対し、シームレスなハイブリッドクラウド環境を提供します。ストレージインフラの管理と時間のかかる調達サイクルの実施を解消し、IT部門の負担を減らせば、ビジネスニーズとストレージのコストを連動させ、迅速に価値を実現して、目標達成を目指して基幹業務の運営に集中できるようになります。

Keystoneではオンプレミスとクラウドの両方のデータストレージサービスを同じ管理コンソールで管理し、毎月の費用を単一の請求書で処理できます。そのため、ハイブリッド環境内でのプロビジョニングや監視、ストレージコストの最適化までを一元管理し、財務面と運用面の柔軟性を最大化できるという特長があります。

主なメリット

Keystoneは運用面と財務面の柔軟性を最大限に高め、クラウドならではの汎用性をオンプレミスのストレージにも提供することで、お客様のビジネス戦略を後押しします。

ITの運用を簡易化

Keystoneではクラウドと同様のサービス体系を採用することで、使用量に基づくコスト計算からIT部門を解放。ハードウェアのライフサイクルの複雑な管理が必要なくなります。

柔軟性を さらにレベルアップ

容量またはパフォーマンスの要件に応じて、ファイル / ブロック / オブジェクトストレージの適切な階層を使い分けながら、オンプレミスまたはクラウド内でのサービスの消費、支払い、アクティブ化を柔軟に調整できます。

クラウドならではの利点を オンプレミスにも提供

プロビジョニング、オーケストレーション、管理のすべてに対応した単一のコンソールで、ストレージ環境をクラウドへ簡単に拡張。クラウドネイティブまたは優先度の低いワークロードの運用に、クラウドを活用しやすくなります。

パフォーマンスと 保護レベルの予測性が 向上

クラウドデータサービスを使用する方法や場所、タイミングを柔軟に選択。ニーズに応じてストレージを強化し、データにどこからでもアクセスできるようにして、データ保護の不備に対する不安を解消できます。

標準的なユースケース

Keystoneはオンプレミスのストレージとクラウドデータサービスを集約し、単一のサブスクリプション契約として柔軟なSTaaSプランを提供します。しかも、ワークロードを複数のクラウドに再配分してストレージのコストを最適化できるようになります。

クラウド移行の橋渡し

ワークロードをクラウドに移行する場合や、クラウドからオンプレミスに戻す場合に、一時的なOPEXソリューションとして活用できます。

STaaSプロバイダ

ストレージの使用量に応じて容量ベースでコストを算出し、正確なチャージバックを実施できます。マルチテナントやロールベースアクセス制御（RBAC）を活用できるというメリットもあります。

大容量データ

大規模なメディアリポジトリ、長期アーカイブ、データレイクの運用に伴う、IT部門の手間を最小限に抑えます。

最新のデータセンター

テクノロジーの刷新を促進し、ストレージインフラの保守に費やす時間を削減できます。

Keystoneがお客様に支持される理由



- **54%**のネットアップのお客様が、従来の支払いモデル以外の方法を希望
- **66%**のお客様が、従量制のストレージにも料金面や正味コストの面でのメリットを実感
- **55%**のお客様が、ストレージの半分以上で従量制モデルを使用

出典：Enterprise Strategy Group、『Quantitative Research Findings』（2019年7月）

Keystone

必要なときに、必要な分だけストレージを購入



パフォーマンスに基づく 料金体系

成果のレベルに応じた、
ファイル / ブロック ストレージの
豊富なサービス階層を提供。
ビジネス ニーズの変化に
応じてパフォーマンスを
増減できます。



成長に応じた投資の拡大

サブスクリプションによって
一定量の利用契約を結ぶことで
費用が予測しやすくなり、
超過分の容量は従量制で
追加購入できます
(必要に応じ、最大20%まで
定期契約と同じ価格で
利用可能)。



バンドルでの価格設定

ハードウェア、コアOS、
サポート、Equinix
コロケーションのサービスを
単一の契約にまとめ、
TiBあたりの月額料金で提供。
オンプレミスとクラウドのすべての
データ サービスについて、
料金請求を一本化できます。



柔軟な契約条件

最短1年間の定期契約で、
サイトあたり25TiBから
利用可能。満了後は、
自動更新で12カ月間サービスを
延長するか、解約することが
できます。



クラウドのフル活用

オーケストレーション、
プロビジョニング、
管理を一元化でき、
クラウド統合がネイティブで
サポートされるため、
バーストやディザスタ リカバリ
対策などに最適です。



自動階層化

オンプレミスやいずれかの
パブリック クラウドの、
より安価なストレージへ
コールド データを自動的に
階層化することで、
ストレージ コストが50%以上
削減されます。



OPEXモデルへの移行

完全なOPEXモデルに移行し、
IT資産への設備投資を
なくすことで、テクノロジーによる
負債を解消します。



組み込みのデータ保護機能

Keystoneは、NetApp®
Snapshot™ コピー、
データ保管、レプリケーション、
99.999%のデータ可用性を
標準でサポートし、
追加料金なしで利用できます。



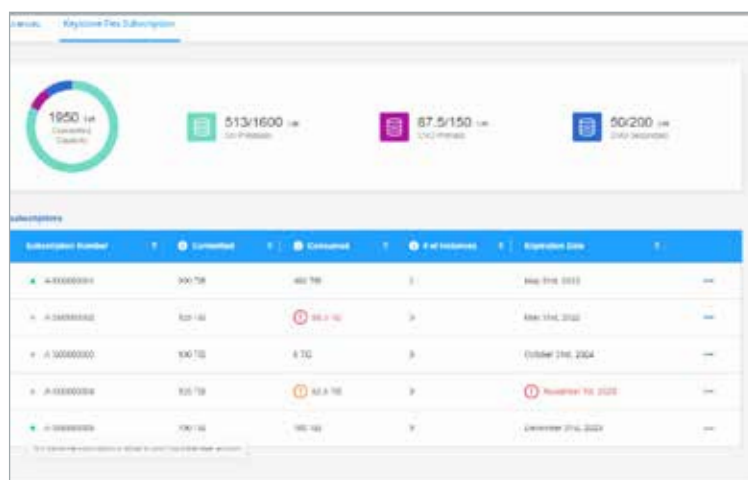
NetApp Keystoneの特長

- 固定資産への初期投資を抑制
- オンプレミスとクラウドのデータ ストレージ サービスを一元管理し、毎月の費用を単一の請求書に集約して、ストレージのコストをクラウドベースで最適化
- 余分な購入やオーバープロビジョニングを回避
- 企業活動に合わせてデータ ストレージのコストを最適化
- ハイブリッド クラウド環境全体に、データ ストレージ サービスを簡単に展開
- シンプルな購入体系
- ITスタッフがより価値の高いプロジェクトに専念
- パフォーマンス、データ保護、セキュリティ、コンプライアンスの向上を後押し

サービス ライフサイクル全体の役割と責任

ソリューションの運用責任を、だれ（お客様、認定パートナー、ネットアップ）がどこまで負うかをお客様が決定

| サービスのライフサイクル | お客様が運用 | | パートナーが運用 | ネットアップが管理 (月額制の別料金) |
|--------------|--------|-----|----------|------------------------|
| | ネットアップ | お客様 | パートナー | ネットアップ |
| 環境の構築、構成、導入 | ✓ | | ✓ | ✓ |
| 監視と管理 | | ✓ | ✓ | ✓ |
| 運用と最適化 | | ✓ | ✓ | ✓ |
| サポート | ✓ | | ✓ | ✓ |



ストレージの利用状況の監視と管理ができる シンプルなダッシュボード

- 定期契約済みの容量と使用率を監視
- ストレージをプロビジョニングし、データ保護ポリシーを設定
- 超過容量、使用率、課金額を日常的に確認
- 容量変更に関するアラートと通知を受信
- 毎月の課金額とその履歴を可視化
- 容量とストレージ サービスの追加を申し込み、サブスクリプションを管理
- NetApp Keystone APIを使用して、各種オーケストレーション ツールを統合

NetApp Cloud Managerの連携機能を使用すると、Keystoneを接続してストレージ サービスの詳細を確認するだけでなく、お客様が所有する他のあらゆるネットアップ インフラについても管理できます。Cloud Managerでは単一のダッシュボードを通じて、容量の使用率やトレンド データの確認、詳細なレポートの作成を行えます。オンプレミスとパブリック クラウドの、両方のインフラを可視化することができます。Cloud ManagerはKeystoneのサブスクリプションの管理にも対応し、サブスクリプション契約への新たなサービスの追加や、利用中のサービスの容量変更が可能です。



Keystoneの導入効果

- オンプレミスとパブリック クラウドのデータ ストレージ サービスを、単一のサブスクリプション契約に集約
- ニーズに応じて、あらゆる場所のストレージをクラウドと同様に運用
- ハイブリッド クラウド全体でストレージのコストを最適化
- 必要なときに、必要な分だけストレージを購入

利用の開始

これまでにない、ストレージの運用、管理、支払いを実現。ご利用開始は3ステップで完了

計画

Keystoneを使い始めるにあたり、まずはストレージ サービスプランを利用することで、メリットを得られるユースケースを特定します。ロードマップの計画に支援を必要とされる場合は、ネットアップにお任せください。ハイブリッド マルチクラウド向けのさまざまなプロフェッショナル サービスを通じて、当社スペシャリストがお客様の成功をお手伝いします。

サブスクリプション契約

具体的な計画が完成したら、Keystoneのサブスクリプションを開始しましょう。パフォーマンスのサービス レベルと定期契約する容量、高度なデータ保護やデータの階層化といったアドオン サービス、契約条件のほか、環境の運営をお客様とパートナー企業のどちらが行うかを選択します。別途、月額料金が必要となりますが、ネットアップによるフル マネージド サービスもご用意しています。また、各種ワークロードに対応したストレージ要件の判断が難しい場合は、Keystone向けのワークロード分析ワークショップをお申し込みください。

導入と利用開始

ネットアップのスペシャリスト チームが、設計や構築、インストレーションのほか、構成、導入、初期支援などのサービスをお客様との契約条件に応じて提供いたします。また、既存のデータをKeystoneサービスに移行し、費用請求の一元化をお手伝いすることも可能です。お客様にご納得いただけるまで、親身にサポートいたします。

この段階ではいよいよ、STaaSプランの利用を開始します。NetApp Cloud ManagerまたはKeystone APIを使用して、最初のボリュームを作成します。利用開始後は、担当のNetApp Keystoneサクセス マネージャーやサポート スペシャリストと緊密な連絡を取り、新しいサービスや容量の追加を行ったり、追加のワークロードをKeystoneサービスに移行したりできます。

NetApp Keystoneがビジネスにもたらすその他のメリットをご紹介します。
KeystoneのWebページをご確認ください。



+81-3-6870-7400

© 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. NetApp, NetAppのロゴ、<https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。NA-560-0522-jaJP